

# 教育委員会定例会会議録

令和7年1月16日（木）

## 教育委員会定例会会議録

令和7年1月16日午後3時00分教育長竹内清が教育委員会定例会を茅ヶ崎市役所分庁舎5階特別会議室に招集した。

### 1 会議出席委員は、次のとおり。

教育長 竹内 清      委 員 赤坂雅裕      委 員 中馬智子  
委 員 伊藤甲之介      委 員 大森美保子

### 2 会議出席事務局職員は、次のとおり。

教育総務部長 白鳥慶記	教育推進部長 松岡智紀
教育指導担当部長 木村千裕	教育総務課長 関 健次
教育施設課長 高橋 修	学務課長 中原健一郎
教職員担当課長 間井雄三	社会教育課長 伊勢田珠代
青少年課長 関山知子	図書館長 高木直昭
小和田公民館担当課長兼館長 浅井志子	鶴嶺公民館担当課長兼館長 荒名穂子
松林公民館担当課長兼館長 西山昭一	香川公民館担当課長兼館長 松下晃久
博物館担当課長兼館長 須藤 格	

### 3 会議の大意は、次のとおり。

午後3時00分開会

○教育長 それでは、ただいまから1月定例会を開催いたします。

日程第1、事務報告、令和6年第4回市議会定例会についてを議題といたします。

担当事務局、説明をお願いいたします。

○教育総務部長 それでは令和6年第4回定例市議会定例会の報告をいたします。

議案書は3ページから22ページでございます。

4ページをご覧ください。同定例会は、11月28日から12月19日までの会期20日間で開催

されました。

まず、教育委員会に関する議案につきましてご報告いたします。

11月28日に文化教育常任委員会が開催され、議案第90号令和6年度茅ヶ崎市一般会計補正予算第11号所管部分が審査され、29日の本会議にて可決されました。

また、同日に総務常任委員会が開催され、議案第117号茅ヶ崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例、及び、議案第118号茅ヶ崎市職員給与条例及び茅ヶ崎市一般職任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例が審査され、29日の本会議にて可決されました。補正予算の内容といたしましては、職員の給料月額並びに期末手当及び勤勉手当の額を改定することに伴い、職員の給与手当等を増額するものでした。

12月11日の文化教育常任委員会では、議案第91号令和6年度茅ヶ崎市一般会計補正予算第12号所管部分の審査が行われ、19日の本会議にて可決されました。補正予算の内容といたしましては、児童生徒数増への対応や、令和7年度使用の中学校教科用図書及び指導書等の購入、小学校給食費の公会計化に向けた体制整備等、必要な経費を増額するものでした。

なお、今回、陳情の提出が1件ございましたが、取り下げとなっております。

18日の文化教育常任委員会では、議案第119号令和6年度茅ヶ崎市一般会計補正予算第13号所管部分の審査が行われ、19日の本会議で可決されました。補正予算の内容といたしましては、学校の工事に関わる休日の施工管理委託、旧文化資料館解体に関わる補償費について、必要な経費を増額するものでした。

議案に関しましては以上のとおりでございます。

次に、一般質問でいただきました質問につきましてご説明をいたします。

今回の市議会定例会におきましては、7議員より質問がございました。

議案書6ページの、ちがさき自民クラブ金子遥議員からは、教育委員会と各小・中学校との連携についてと題して、いじめ等問題発生時における各小・中学校との連携体制等について質問がありました。

7ページからの絆・新政・新しい風木山耕治議員からは、子どもたちの居場所と食についてと題して、不登校児童生徒への対応について、中学校給食についての質問が、自転車利用環境の

向上に向けてと題して、交通安全教育等についての質問がありました。

議案書 12 ページからの公明ちがさき阿部英光議員からは、学校図書館の価値をさらに向上させるためにと題して、学校図書館の整備及び活用の状況等について、これからの学校図書館に求められる課題についての質問がありました。

議案書 15 ページからのちがさき自民クラブ岡崎進議員からは、小・中学校のタブレットについてと題して、小学校及び中学校での活用実績と課題について、教員の利用状況について、タブレットのセキュリティについて、タブレットを使用したいじめや虐待について、タブレットの更新についての質問がありました。

18 ページからのちがさき立憲クラブ早川仁美議員からは、いじめについてと題して、茅ヶ崎市いじめ防止基本方針について、いじめの重大事態についての質問がございました。

20 ページからの絆・新政・新しい風長谷川由美議員からは、経済、まちづくり、教育分野から捉えるクリエイターシティ・チガサキ形成戦略についてと題して、多分野から見たクリエイターシティ・チガサキ形成戦略について、茅ヶ崎市が持つ資源を生かすことについての質問がありました。

議案書 21 ページからのちがさき立憲クラブ藤本恵祐議員からは、台風等発生時における休校等の措置についてと題して、市の対応方針及び該当事案の発生状況等について、課題及び今後の対応等についての質問がございました。

それぞれの質問に対しての答弁は議案書のとおりでございます。

以上で、令和 6 年第 4 回市議会定例会の報告を終わります。

よろしく願いいたします。

○教育長 説明が終わりました。

ご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

○伊藤委員 質問ではないんですけども、6 ページ等に、教員の働き方改革に係るお話が出ていまして、ただ退勤時刻を早くしましょうというだけではなくて、茅ヶ崎市として様々な職の方を投入することによって、先生方の仕事を少しでも軽くしようと、それによって働き方を

変えていこうという姿勢が見られています。ただ早く帰ろう、ということだけでは、業務が荒む可能性もあるわけですね。こういうことをすることによって、児童生徒に寄り添った教育がより充実できると私は感じたところでございます。

それから、あと2つあるんですが、もう1つは、上の段のところに複数の教職員が多様な視点で、というようなことが書かれているんですね。先ほどお話しました働き方改革の中で、ちょっとした会話ができるような余裕もできてくるんじゃないかと思うんですね。そういうちょっとした会話の中に、ケース会議に繋がるような内容の話も出てくると思うんですね。ですから、そういうような余裕が持てるようになる取り組みを教育委員会が進めている、学校での動きを進めてるというのは、素晴らしいことだなと思ったところでございます。

それから、いじめの質問があり、そこに対して答弁がされているところですが、小学校などに行かせていただいている中で、校長先生から教科担任制の話が出てきまして、教科担任制をすることによって、1つのクラスをいろんな先生が見ている、それによってただ教科の授業をやっているだけじゃなくて、ちょっと気になることの話もそこで出てくるということで、茅ヶ崎市の小学校においては、チーム学年のような取り組みがなされていると私は思ったんです、その話を聞いたときに。やっぱりそういうような地道な取り組みが、教科担任制とはまた違うんですが、その教科担任制をすることによって、そういう他の課題についても解決に結びつくんじゃないかなと私は思ったところです。

最後ですが、10ページ上から2段落目に、毎日という単語があるんですね。毎日ってすごく大事なことで、これをされてるということは、栄養士が毎日調理施設に行っています、ということだと思うんですが、毎日というのはなかなかできないことだと思うんです。これを実際やっているというのは素晴らしいと思いました。

以上です。

○大森委員 今回、たくさんの質問の中から特に教育委員会と小・中学校との連携についてというご質問について、教育長を始め教育総務部長、教育指導担当部長が本当に的確に分かりやすくお答えいただいているということを私自身とても強く感じました。

その中で、学校教育というのは1点だけをとらえるのではなくて、本当に総合的に、生徒の人格も含め、いろいろなことを見ていかなければならない現場だと思っています。その辺について、よくよくこの文章を見ますと、1つのことだけだとすると、どうしても先生方のコミュニケーション能力だったり、感性、感知能力だったり、まだまだ勉強が足りませんよと言ってその辺をつつきがちですけれども、それはそれで十分教育的なこともなさって指導を受けながら先生たちはやってらっしゃることを感じています。プラス、なかなか私たちがそこに視点を置けないことの1つとして、教職員と直接話をするのが苦手の児童・生徒もいるんだ、じゃあそういう子たちにどういう心配りをしていけばいいのか、ということの日々心に留めて対応されているということをととても感じていますし、そのとおり、それがとても大事だと思います。

それも含めて、茅ヶ崎の教育環境は、十分ではないという意見があるかもしれませんが、努力をされているということを感じておりますので、ぜひ引き続き、先生方それから教育委員会での皆様のご発言を通して、ぜひこれからも励んでいただければと思います。

それから、伊藤委員と重なりますけれども、10ページの給食についてです。始めました、ただそれだけではなくて、いつもいつもここはどうなのか、生徒たちが美味しく食べているか、喜んでいるのか、量が足りているのか、その点を細かく毎日のように足を運んで努めていらっしゃるということはとても感動しましたし、ぜひ保護者の方にそこまで伝わって給食がより生徒にとっていいものになることを願っております。

それから、9ページ中段に学びの多様化学校という、私としては初めて耳にする言葉なんです、どういう学校なのかをちょっとご説明いただければと思います。

以上です。

○教育指導担当部長　学びの多様化学校につきましては、いわゆる不登校の特例校になっております、鎌倉市の方でもそういった動きがあって、議員の方からのお話があったところがございます。

各学校でそれぞれ不登校の子に対する対応というのは、例えば別室登校、それからオンラインの事業等色々やってるんですけど、そういった子が特別の教育課程で別の学校を、とい

うのが、今文部科学省でも強く進めているところでございまして、我々としましてもそういったものがないかというところの研究を進めていきたいというに考えています。以上でございます。

○教育長 他にいかがでしょうか。

よろしいですか。

他にご意見等がなければ、日程第1、事務報告、令和6年第4回市議会定例会についてを終了いたします。

これ以降の議題につきましては、人事に関する案件でございますので、関係部課長だけの出席で行いたいと思います。

ここで皆様にお諮りいたします。

日程第2以降につきましてはその性質上非公開といたしたいと思いますがいかがでしょうか。

(異議なしの声)

異議なしと認め、非公開といたします。

それでは、日程第2入る前に、事務連絡をお願いいたします。

[事務連絡]

午後3時15分閉会

ここに会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、次により署名します。

令和7年1月16日

教育長

委員

委員

委員

委員